

＜就学児サポート調査票(再判定用)参考資料＞ NO.5～20(裏面)の各項目の説明と具体例

| NO | 項目 | 項目の説明と具体例 |
|----|--------------------|---|
| 5 | 大声・奇声を出す | 周囲が驚いたり、他の人が迷惑となるような大声や奇声を出す(物などを使って周囲に不快な音を立てる場合も含む。) |
| 6 | 異食行動 | 食べられないものを口に入れたり、飲み込んだりする行動がある 異食行動を未然に防止するために異食しそうなものを周囲に置かないなど配慮が必要 |
| 7 | 多動・行動停止 | 特定の物や人に対する興味関心が強く、思うとおりにならないと多動になったり、その対象にこだわって動かなくなってしまう |
| 8 | 不安定な行動 | 予定や手続き、日ごろから慣れている人や状況が変わることが受け入れられず突然大声を出したり興奮する等のパニック状態になる等、行動が不安定になる 不安、恐怖、焦燥等にかかれて衝動的な行動がある |
| 9 | 自らを傷つける行為 | 自分で傷跡が残るほど自分の体をたたいたり傷つける、頭を床に打ちつけたりなど、自分の体を傷つける行為がある |
| 10 | 他人を傷つける行為 | 他人を叩く、髪の毛を引っ張る、蹴る等、他人を傷つける行為がある 物を壊したり、物を投げたりする等、他人を傷つける可能性がある 相手を侮辱する等、心理的に相手を傷つける危険性がある |
| 11 | 不適切な行動 | 興味関心が優先したり、適切な意思表示ができなかったり、判断能力が不十分だったりする等により、不適切な行為がある (例)急に他人に抱きつく、断りもなく物をもってきてしまう、他人をのぞきこむ、急に他人に接近する、意思が伝えられないために友達を叩く、物を投げる等 |
| 12 | 突発的な行動 | 関心が強い物や人を見つけたら、突然走って行ってしまう等、突発的な行動がある 危険の認識が弱く、道路への飛び出しや高いところから飛び降りる等の行為がある |
| 13 | 過食・反すう等 | 過食や過飲、拒食、反すう等、食に関する行動上の問題がある 食に関して特別な配慮事項(アレルギー食、きざみ、ミキサー食など)がある |
| 14 | そううつ状態 | 気分が憂うつで悲観的になったり、抑うつ気分により考えがまとまらないため日常生活に支障をきたす 気分が高揚することによって、活発になり様々なことを思いつき、次々と行動に移すが、注意力が散漫であるため失敗に終わることが多く、社会生活に影響を及ぼす |
| 15 | 反復的行動 | ある考えに固執し、特定の行為を反復したり、儀式的な行為にとらわれる等により動作に時間がかかり日常生活に支障が生じる |
| 16 | 対人面の不安緊張・集団生活への不適応 | 人との関係で緊張状態になり、集団生活の場面に参加できなかったり、参加しても行動に移せない 感覚に過敏さがあるため、特定の物しか食べられない、着ることができないなど配慮が生じる |
| 17 | コミュニケーション | A コミュニケーションツール等を用いても自分の意思の伝達ができない |
| | | B 慣れていない場面では、口頭でのコミュニケーションが難しく配慮を必要とする。またはコミュニケーションツールを利用すれば自分の意思の伝達ができる |
| | | C A、Bに該当しない |
| 18 | 説明の理解 | A 簡単な口頭での説明も理解が難しい |
| | | B 簡単な口頭での説明であっても理解できないことが多く、説明に応じた行動ができないことが多い。コミュニケーションツールや手話等を用いると、おおむね理解ができる |
| | | C A、Bに該当しない |
| 19 | てんかん | A てんかんの診断がある。(服薬で発作を予防している場合を含む。) |
| | | B てんかんの経過観察をしている。 |
| | | C :A、Bに該当しない |
| 20 | 読み書き | A 文字の読み書きや意味の理解に関して全面的に支援が必要 |
| | | B 文字の読み書きや意味の理解の一部を自分で行えないため部分的に支援が必要 |
| | | C :A、Bに該当しない |